

第3回 奥州市地域医療検討会議

日時 令和8年7月7日（火）

午後6時30分から

場所 奥州市役所 7階 委員会室

次 第

1 開 会

2 市長あいさつ

3 意見交換

【テーマ】入院機能の役割分担と連携について

4 その他

5 閉 会

奥州市地域医療検討会議 名簿

(敬称略)

奥州市	市 長	ごうこん 郷右近	ひろし 浩
奥州医師会	会 長	ほんだ 本田	けんいち 健 一
岩手県立胆沢病院	院 長	すずき 鈴木	としろう 俊 郎
岩手県立江刺病院	院 長	すずき 鈴木	ゆう 雄
医療法人清和会 奥州病院	院 長	さとう 佐藤	ただお 直夫
社団医療法人啓愛会 美希病院	院 長	いづつ 井筒	ひろと 大人
奥州市医療局総合水沢病院	院 長	ゆ さ 遊佐	とおる 透
奥州市医療局まごころ病院	院 長	いとう 伊藤	まさひろ 正 博

【オブザーバー】

岩手県奥州保健所	所 長	もりや 森谷	としき 俊樹
岩手県保健福祉部 医療政策室		担 当 職 員	
岩手県医療局 経営管理課		担 当 職 員	

資料1

意見交換のポイント テーマ「入院機能の役割分担と連携について」

1 胆江圏域の入院機能の現状認識

令和7年度（2025年度）時点の胆江圏域の病床数（総数）は、地域医療構想に基づく必要病床数と大きな乖離がないと認識している。併せて、少なくとも現時点では、役割分担や連携に関する大きな課題はないと認識している。

（資料2）病床機能別病床数等について

（資料3）胆江圏域における医療機関ごとの入棟・在棟・退棟等の状況

2 必要病床数等の将来見通し

仮に現時点での病床数に過不足がないとしても、今後の人口減少が進めば医療需要は概ね減少し、それに応じて必要病床数も減少していくと見込まれる。もし医療需要に倣って推移すると仮定すれば、胆江圏域の必要病床数は2040年には今より1割減、2050年には2割減になるものと推計される。

ただし、それが入院機能ごとに実際どの程度の数になるかは、今後進められる「新たな地域医療構想」により検討される状況となっており、現時点で有力なデータは持ち合わせていない。

（第2回資料2）人口推計と医療需要の変化について

（参考資料）新たな地域医療構想の策定・保健医療計画の中間見直しについて

3 本日も意見を頂きたい事項

上記2点を踏まえ、特に次の事項に関し、ご意見を頂戴したい。

- （1）事務局が提示した上記1の現状認識に誤りはないか。（認識の誤りや課題等があれば、ご教示いただきたい。）
- （2）第2回の資料のとおり、人口減少に伴い医療需要も減少していくと見込まれるが、入院機能における必要病床数はどの程度減少すると考えるか。
- （3）上記（2）と併せ、病床機能として急性期、回復期（包括期）、慢性期の区分があるが、それぞれの減少の割合はどの程度と考えるか。
- （4）以上のほか、この地域における将来の入院機能を考える上で、特に留意すべき事項はないか。

胆江圏域の地域医療構想に係る具体的対応方針について

1 地域医療構想について

急速な少子高齢化が進む中、医療介護需要の増大と疾病構造の変化が予測され、限られた医療資源を効率的かつ効果的に活用することや、医療と介護の連携を図るため、患者のニーズに応じ、高度急性期から急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、過不足なく提供される医療体制の確保を目指すもの。

2 具体的対応方針の調査結果について

県として、各医療機関における病床機能や2025年を見据えた今後の方向性（具体的対応方針等）についてとりまとめ、その内容等について、毎年、「胆江圏域地域医療連携会議」の場において、内容を確認するもの。

胆江圏域内の病院及び有床診療所から報告いただいた病床機能別病床数については、資料2-2のとおりである。

<概要>

ア 圏域内の病床数について

2025年12月31日現在の病床数は、1,237床（精神病床を除く）となっており、2025年に必要とされる病床数である1,114床を123床上回っている状況。

なお、令和7年において、県立江刺病院58床、総合水沢病院10床、民間診療所20床、計88床が廃止されているもの。

イ 病床機能別病床数について

	〔参考〕 2014年（H26）時点 の病床数	2025年12月31日 現在の病床数 (B) 【今回調査】	2025年 の必要病床数 (C)	必要病床数との 差分 (B) - (C)
高度急性期	0	0	0	0
急性期	825	367	357	10
回復期	60	467	312	155
慢性期	606	344	445	▲101
休棟中	0	59	0	59
計	1,491	1,237	1,114	123

※ 病床機能報告制度とは病院・有床診療所が医療機能の現状と今後の方向を自ら1つ選択し県に報告
「高度急性期」 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供
「急性期」 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
「回復期」 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供
「慢性期」 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能

3 今後の対応について

今年度、国が策定するガイドラインに基づき、新たな地域医療構想の策定に向け、引き続き胆江圏域地域医療連携会議の場において協議していく。

病床機能別病床数(総括表:一般病床と療養病床)

資料2-2

2025年病床数(2025.7.1現在)

2025年病床数(2025.12.31現在)と2025年必要病床数の比較

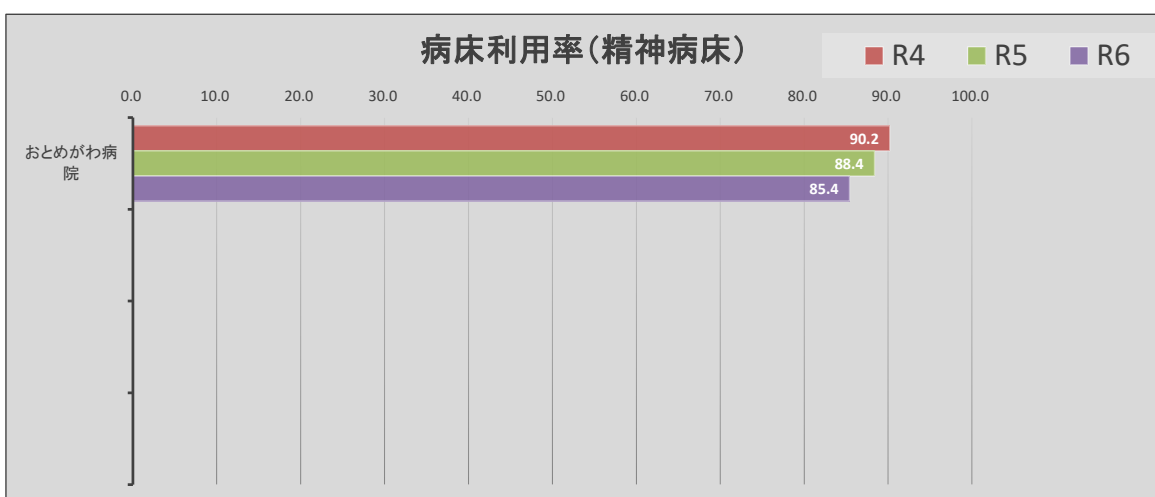
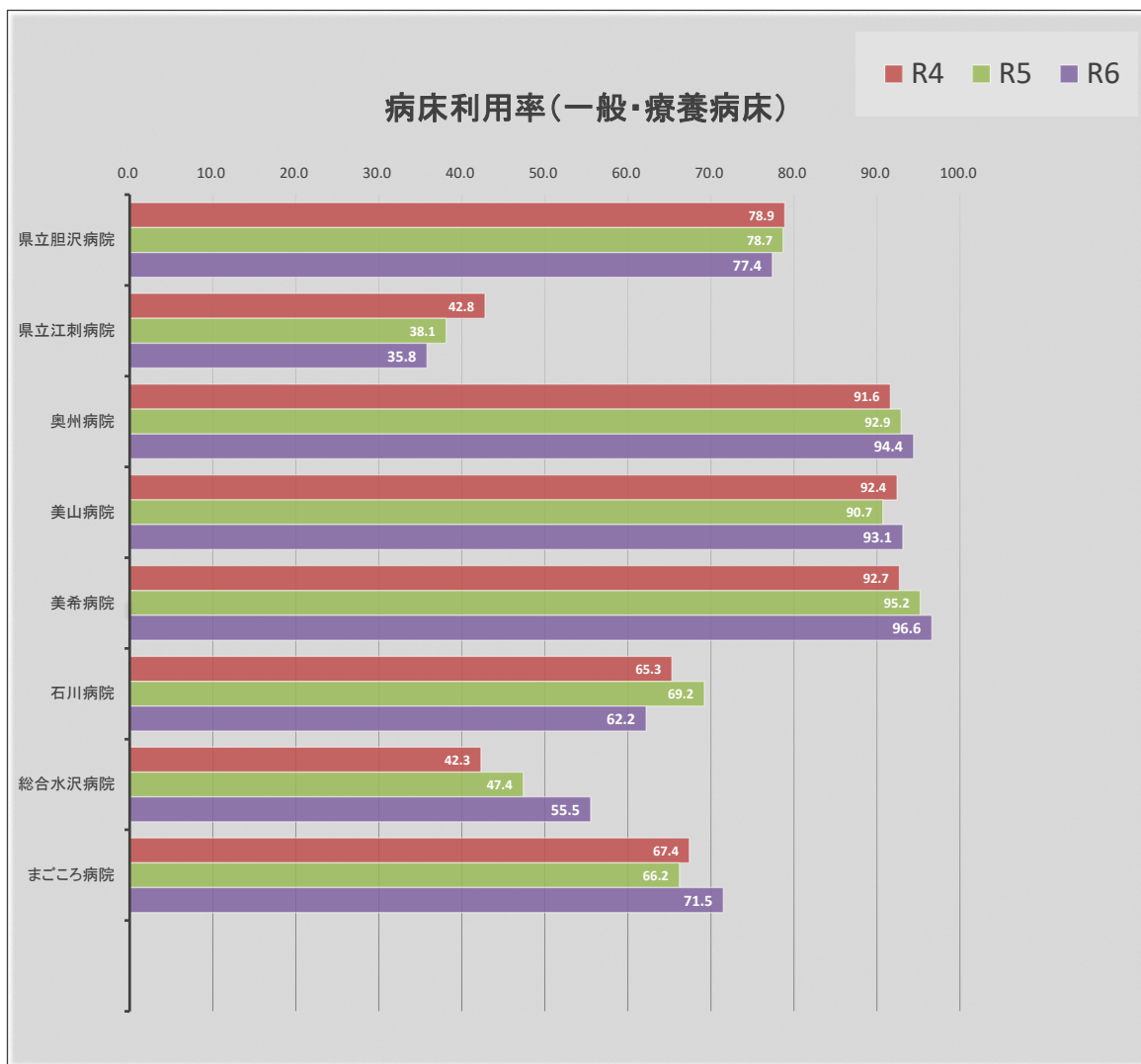
(単位:床)

区分 病院等	急性期	回復期	慢性期	休床等	計	2025	急性期	回復期	慢性期	休床等	計
県立胆沢病院	337	0	0	0	337	県立胆沢病院	337	0	0	0	337
県立江刺病院	0	60	0	0	60	県立江刺病院	0	60	0	0	60
奥州病院	0	96	60	0	156	奥州病院	0	96	60	0	156
美山病院	0	0	172	0	172	美山病院	0	0	172	0	172
美希病院	0	149	100	0	249	美希病院	0	149	100	0	249
石川病院	0	20	12	0	32	石川病院	0	20	12	0	32
総合水沢病院	20	75	0	50	145	総合水沢病院	20	75	0	40	135
まごころ病院	0	48	0	0	48	まごころ病院	0	48	0	0	48
前沢診療所	0	0	0	19	19	前沢診療所	0	0	0	19	19
衣川診療所	0	19	0	0	19	衣川診療所	0	19	0	0	19
民間診療所	10	0	0	0	10	民間診療所	10	0	0	0	10
おとめがわ病院	0	0	0	274	274	おとめがわ病院	0	0	0	274	274
計	367	467	344	69	1,247	計 ①	367	467	344	59	1,237

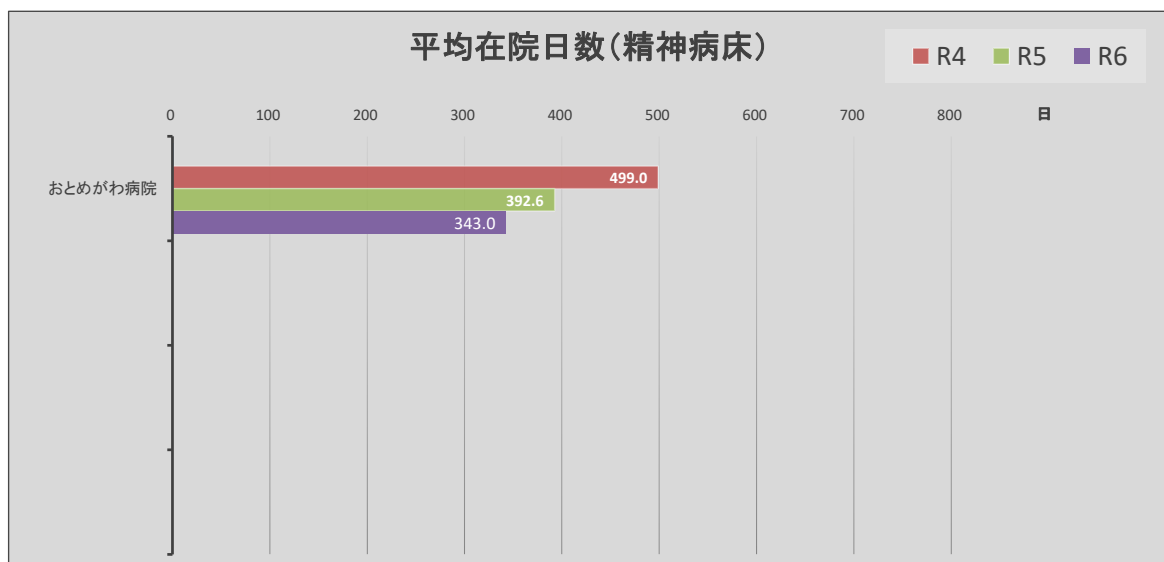
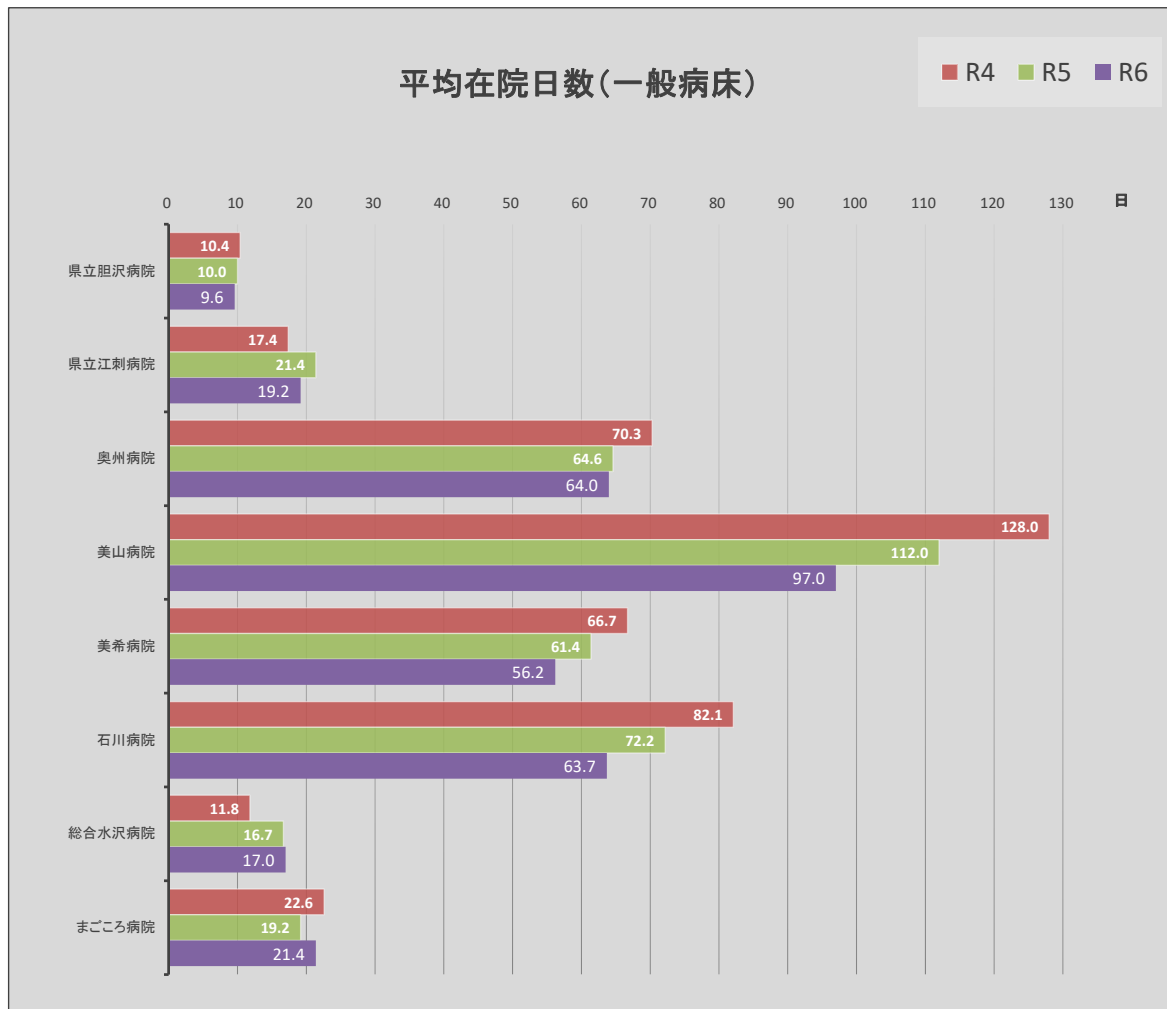
地域医療構想策定時の2025年必要病床数 ②	357	312	445	0	1,114
過不足病床数 (①-②)	10	155	▲ 101	59	123

(参考)平成26年 病床機能報告	急性期	回復期	慢性期	計
	825	60	606	1,491

病院ごとの病床利用率(過去3年)



病院ごとの平均在院日数(過去3年)



各病院の役割と特色(概要)

01 県立胆沢 病院	・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療やがん医療等の高度・専門医療を提供 ・地域がん診療病院として、がん診療連携拠点病院(県立中央病院)と連携し、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療を提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。 ・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修を実施 ・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を受入れ ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ ・臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ
02 県立江刺 病院	・当院は広大な面積を持つ旧江刺市地区唯一の病院であり、基幹病院と連携しながら二次救急病院として、この地域の救急患者の診療を行う一方で、地域包括ケア病床を導入し、他の医療機関や施設と連携しながら回復期の入院医療を行っているほか、江刺地区唯一の透析医療施設として人工透析(透析装置12台うち緊急用1台)を行っている。 ・また、介護施設の感染制御実地指導への職員派遣や当院で開催する感染防止対策研修会の訪問看護ステーションへのZoom配信など地域の感染防止対策活動にも取り組んでいる。
03 奥州病院	地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟を有する胆江地域の後方支援病院。透析(夜間外来透析)、二次救急指定病院、へき地医療拠点病院としての役割も担う。
04 美山病院	・「良き医療とやすらぎの環境」の理念のもと、可能な限りの医療サービスを提供できるよう努めている。 ・長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施している。 ・胆江圏域唯一の緩和ケア病棟があり、地域医療機関との連携を積極的に図っている。
05 美希病院	・地域の高齢者福祉施設における嘱託医療業務を担っている。また、その施設の入居者、並びに地域の在宅患者の受入れ(サブアキュート機能)を行っている。 ・基幹病院にて急性期治療を終えたが、自宅や施設で生活するのに困難や不安がある患者の受入れ(ポストアキュート)を行っている。 ・医療依存度が高く、在宅や施設への退院が難しい患者が、安心して療養できるよう支援している。 ・地域の生産年齢人口層の健康増進、並びに予防医療を目的に企業健診や人間ドック業務を展開している。 ・透析治療が必要な患者さんに対し、外来及び入院治療を行っている。 ・病院、併設介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、デイケアセンター、訪問リハビリが連携し、医療と介護のサービスを提供することで地域包括ケアシステムの補完及び充実へ寄与している。
06 石川病院	・基本的には慢性期治療を担う病院であるが、かかりつけの患者さんや地域の患者さんの急性期疾患への対応を担う。 ・急性期病院からバスなどによる入院及び外来患者さんの受け入れ及び紹介。 ・掛かりつけ及び地域の患者さんへの在宅医療や緩和治療・看取りなどを担う。 ・地域の施設入所者の診療や疾病予防など健康の維持への協力。 ・認知症、軽度認知症の診断治療への協力。
07 総合水沢 病院	・圏域の医療機関との役割分担や連携を図りながら、中・軽度の急性期医療から、ポストアキュートの機能、在宅医療のバックアップベッド機能等、多様な疾患に対応する、地域医療に密着した病院

各病院の役割と特色(概要)

08 まごころ 病院	医療機関が少ない胆沢地域において、地域住民のかかりつけ医としての役割と救急外来を中心とした救急医療のほか、地域に密着した病院として、訪問診療や回復期を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。 ・慢性疾患への幅広い診療対応をメインとしながら、肺炎、尿路感染症などの高齢者の軽度急性期にも対応しています。 ・廃用やフレイルが進行し、退院後の生活が困難になることを防ぐためにリハビリテーションに注力しています。 ・介護との連携を密にしながら、訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療、訪問リハビリに取り組むとともに、オンライン診療を導入し在宅医療の充実を図っています。 ・住民健診や予防接種等を積極的に行っています。 ・地域歯科治療とともに、口腔ケアの啓発に努めています。 ・臨床研修医や医学生の研修や実習を積極的に受入れ、人材育成の一端を担い地域医療の促進を図っています。 ・隣接する福祉施設、健康増進施設の3者で連携し、地域住民の健康教育や啓発活動を行っています。
09 おとめがわ 病院	・胆江圏域で精神病床を有する唯一の医療機関。入院対応要するケースも含み、精神科領域での圏内医療要請に応える。急性期、回復期、慢性期全体をカバーする良質の医療を目指す。
10 奥州市国民健康保険前沢診療所	・地域住民の心身両面からの外来診療を行うとともに、生活習慣病予防や認知症対策の普及啓発を行っている。近年は心療内科としてのニーズの高まりがみられる。
11 奥州市国民健康保険衣川診療所	・山間へき地である奥州市衣川地域唯一の医科医療機関として、へき地診療所の役割やかかりつけ医機能を担い、県立胆沢病院(照会先兼照会元医療機関)や他の市立病院と連携し地域医療の提供を行っている。 ・隣接している衣川地域唯一の高齢者施設の嘱託医として、医療介護連携を進めながら、地域の包括ケアシステムを支えている。
12 鈴木眼科 吉小路	・眼科治療が専門で、現在、手術は白内障手術が主であり、緑内障の白内障との併用手術も行っている。そのほかに前眼部手術も状況によって行っている。その多くは外来入院であるものの、手術施行施設が減少しており、県南の広い地域の開業医、県立病院とも連携している。そのため一泊入院の希望も少なくない状況である。 ・現在、眼科の手術施行施設は公的病院も含めて減少しており、今後は眼科手術センター的な施設にするべく、一緒に働く手術眼科医を募集しているところである。その時には、県南ではほとんどやられていない、硝子体手術、斜視手術、眼形成手術なども行う予定であり、最低でも現在の病床を維持していく必要があると考えている。

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート(病院用)

病院名		岩手県立胆沢病院
診療科目	内科、血液内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、乳腺外科、腎臓内科	

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	337			9		346
	稼働	337			9		346
	非稼働						0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	266.8			1.1		267.9
	R5	269.9			2.5		272.4
	R4	270.6			2.5		273.1

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	79.2			12.3		77.4
	R5	80.1			27.9		78.7
	R4	80.3			27.6		78.9

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	9.6			11.4		9.6
	R5	9.9			8.3		10
	R4	10.4			5.7		10.4

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在		337				337
	R7見込(2025年)		337				337

☐ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) **なし**

☐ 利用する補助金 **なし**
あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用
☐ その他(補助金名:)を利用

☐ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート(病院用)

病院名	岩手県立胆沢病院
-----	----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療やがん医療等の高度・専門医療を提供
・地域がん診療病院として、がん診療連携拠点病院(県立中央病院)と連携し、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療を提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
・地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療の提供、地域の医療従事者に対する研修を実施
・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を受入れ
・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ
・臨床研修病院として、臨床研修医を受入れ

3 2040年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・介護スタッフを交えた退院前カンファレンスの実施
・ケアマネや介護福祉施設と患者情報を共有し、円滑な退院につなげるなど入退院支援機能の強化
・NST回診データの共有による医科歯科連携の強化

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・訪問診療部会による訪問診療・看護の継続

(3) 医療従事者の確保

・早期離職予防として、メンタルヘルス支援事業の個人カウンセリングを、新採用職員全員に活用促進

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・HCU(6床)を令和8年2月より稼働予定

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名		岩手県立江刺病院					
-----	--	----------	--	--	--	--	--

診療科目	内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、小児科、脳神経外科、皮膚科、産婦人科、麻酔科						
------	--	--	--	--	--	--	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	60			15		75
	稼働	60					60
	非稼働				15		15

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	45.5			0.3		45.8
	R5	48.9			1.8		50.7
	R4	56.8					56.8

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	40.3			2.2		35.8
	R5	41.5			11.7		38.1
	R4	42.8					42.8

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	19.2			6.6		19.2
	R5	20.6			8.5		21.4
	R4	17.4					17.4

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在			60			60
	R7見込(2025年)			60			60

☐ 病床機能等の再編予定 あり （運用開始予定時期 ） なし

☐ 利用する補助金 ・なし
・あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用 ☐ その他（補助金名： ）を利用

☐ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名	岩手県立江刺病院
-----	----------

2 病院の役割・特色（病院運営の基本方針、担う医療機能等）

当院は広大な面積を持つ旧江刺市地区唯一の病院であり、基幹病院と連携しながら二次救急病院として、この地域の救急患者の診療を行う一方で、地域包括ケア病床を導入し、他の医療機関や施設と連携しながら回復期の入院医療を行っているほか、江刺地区唯一の透析医療施設として人工透析（透析装置12台うち緊急用1台）を行っている。

また、介護施設の感染制御実地指導への職員派遣や当院で開催する感染防止対策研修会の訪問看護ステーションへのZoom配信など地域の感染防止対策活動にも取り組んでいる。

3 2040年を見据えた今後の方向性

（1）医療と介護の連携に向けた取組について

介護施設及び訪問看護ステーション等と連携し、後方支援病院としての役割を担っている。

令和6年度から、介護施設の協力機関病院として契約を締結し連携を強化している。

また、高齢者の増加に伴い、在宅医療ニーズに対応すべく訪問診療も積極的に行っている。

江刺地区の医療機関、介護施設及び行政機関との連携を強化するため、研修や意見交換等を行う場として、当院を事務局とした「奥州市江刺地域医療福祉連携懇話会」を設置し、年3回の研修会等を開催している。

（2）在宅医療の充実に向けた取組について

在宅療養支援病院として、訪問看護ステーション等と連携しながら在宅患者の訪問診療を行い、在宅での看取りも行っている。

令和6年度の訪問診療は、290件を超え、令和7年度も200件を超える見込みである。

（3）医療従事者の確保

医師については、関係大学医局への訪問や求人募集のほか県医療局医師支援推進室と連携し確保に努めている。

その他正規の医療従事者については、県医療局において一括管理（確保）している。

（4）その他（認知症対策、回復期リハビリテーション 等）

精神科医による「もの忘れ外来」を週1回行っている。

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名	医療法人清和会 奥州病院
-----	--------------

診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、総合診療科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	38	118				156
	稼働	38	118				156
	非稼働	0	0				0

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	35.6	111.7				147.3
	R5	34	110.9				144.9
	R4	33.6	104.5				138.1

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	93.6	94.6				94.4
	R5	89.7	94.5				92.9
	R4	88.5	93				91.6

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	28	115				64
	R5	27	127				64.6
	R4	31	125				70.3

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在			96	60		156
	R7見込 (2025年)			96	60		156

○ 病床機能等の再編予定 あり （運用開始予定時期 ） なし

○ 利用する補助金 ・なし
・あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用
☐ その他（補助金名： ）を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名	医療法人清和会 奥州病院
-----	--------------

2 病院の役割・特色（病院運営の基本方針、担う医療機能等）

地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟を有する胆江地域の後方支援病院。透析（夜間外来透析）、二次救急指定病院、へき地医療拠点病院としての役割も担う。

3 2040年を見据えた今後の方向性

（1）医療と介護の連携に向けた取組について

地域医療連携部による圏域内医療機関及び居宅系介護事業所との連携に加え、法人内の事業所である、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、通所介護・リハビリテーション事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等との連携。

（2）在宅医療の充実にに向けた取組について

地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟より、入院患者の在宅復帰を図る。
又、訪問診療、訪問リハビリ、訪問リハビリ、通所介護・リハビリにより在宅患者への充実及び支援を図る。

（3）医療従事者の確保

各職種養成学校の採用部への訪問及び実習生の受入れ。
ハローワーク、紹介会社の利用や現職員からの紹介等の継続的な実施。
就職ガイダンス等の各種求人イベントへの積極的な参加。

（4）その他（認知症対策、回復期リハビリテーション 等）

回復期リハビリテーション病棟を基盤とし、急性期医療を終えられた患者を受入れ、積極的なリハビリテーションを実施する事で、在宅への復帰を支援する。

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート(病院用)

病院名	社団医療法人 啓愛会 美山病院
-----	-----------------

診療科目	内科・外科・整形外科・リハビリテーション科・緩和ケア内科
------	------------------------------

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	112	60				172
	稼動	112	60				172
	非稼動						0

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	101	58				159
	R5	97.8	58.8				156.6
	R4	96.5	59				155.5

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	89.9	96.6				93.1
	R5	87.5	97.4				90.7
	R4	89.3	98				92.4

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	60	261				97
	R5	74	273				112
	R4	80	502				128

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在				172		172
	R7見込 (2026年)				172		172

☐ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) なし

☐ 利用する補助金 ・なし
・あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用
☐ その他(補助金名:)を利用

☐ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート(病院用)

病院名	社団医療法人 啓愛会 美山病院
-----	-----------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

- ・「良き医療とやすらぎの環境」の理念のもと、可能な限りの医療サービスを提供できるよう努めている。
- ・長期療養や看取りに重点を置いた慢性期医療を実施している。
- ・胆江圏域唯一の緩和ケア病棟があり、地域医療機関との連携を積極的に図っている。

3 2040年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

- ・嘱託施設、協力医療機関契約施設と交流会を設け、施設管理者、職員との意見交換を積極的に行っている。
- ・交流会での意見を参考に、今後の連携の在り方や、医療、介護の現状を共有し、変化や変更に対して受け入れできる準備をしている。
- ・嘱託施設、協力医療機関施設からの依頼を受け、感染症対策研修の開催、施設看取りについての講義を継続していく。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

- ・在宅機能のある施設との交流会を設け、施設職員との意見交換を積極的に行っている。
- ・訪問看護ステーションと連携を図り、在宅患者の診療、必要時には入院の受け入れ態勢を整えている。

(3) 医療従事者の確保

- ・ホームページを活用したリクルート活動。
- ・人材紹介会社を活用した人材確保。
- ・実習生受け入れや職場体験を通して学生への魅力の発信。また、オープンキャンパスへの参加や病院見学の対応。
- ・文部科学省キャリア教育教材への参画を図り、未来の医療従事者増加に期待している。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

- ・認知症サポート医による医療提供ならびにアドバイスを受けることで、高齢者施設の入所者の認知症ケア・予防につなげる。
- ・緩和ケア病棟においても継続的に認知症の合併がある患者を受け入れていく。

病院名	社団医療法人 啓愛会 美希病院
-----	-----------------

診療科目	内科、循環器内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、皮膚科、小児科、放射線科、呼吸器内科、漢方内科、糖尿病内科
------	--

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	149	100				249
	稼動	149	100				249
	非稼動						0

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	144	96.5				240.5
	R5	142.9	94.3				237.2
	R4	140	90.5				230.5

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	96.7	96.5				96.6
	R5	95.9	94.3				95.2
	R4	93.9	90.5				92.7

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	42.1	111.6				56.2
	R5	46.1	128.7				61.4
	R4	49.8	168.5				66.7

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在			149	100		249
	R7見込(2025年)			149	100		249

☐ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期) **なし**

☐ 利用する補助金 **なし**
☒ あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用
☐ その他(補助金名:)を利用

☐ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

病院名	社団医療法人 啓愛会 美希病院
-----	-----------------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・地域の高齢者福祉施設における嘱託医療業務を担っている。また、その施設の入居者、並びに地域の在宅患者の受入れ(サブアキュート機能)を行っている。
・基幹病院にて急性期治療を終えたが、自宅や施設で生活するのに困難や不安がある患者の受入れ(ポストアキュート)を行っている。
・医療依存度が高く、在宅や施設への退院が難しい患者が、安心して療養できるよう支援している。
・地域の生産年齢人口層の健康増進、並びに予防医療を目的に企業健診や人間ドック業務を展開している。
・透析治療が必要な患者さんに対し、外来及び入院治療を行っている。
・病院、併設介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、デイケアセンター、訪問リハビリが連携し、医療と介護のサービスを提供することで地域包括ケアシステムの補完及び充実へ寄与している。

3 2040年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・地域の診療所、介護老人保健施設、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、調剤薬局等を交えた地域連携懇話会の開催を継続し、互いの顔が見える関係をより強固なものにすることで、シームレスな医療と介護の連携体制を構築する。
・グループ内の医療機関、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイケアセンター、訪問看護(リハビリ)ステーション、居宅介護支援事業所等にて連携を図り、地域包括ケアシステムの補完及び充実に貢献していく。
・退院先の施設スタッフやケアマネ等を実施するカンファレンスや患者情報提供の質の向上を目指す。
・地域の高齢者福祉施設の嘱託医療業務を継続し、より一層の医療と介護の連携を図る。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・2024年より開始した訪問リハビリの充実と拡大を目指す、地域のニーズに応えていく。
・患者や家族との面談等を通して、在宅で利用可能な社会資源や制度の情報提供を積極的に行う。
・住み慣れた自宅で安心して療養できるよう、外来診療の充実を通じて在宅医療支援を強化する。適切な診察・指導・相談機能を高めることで、病状の安定化と早期対応を図り、入院や急変を予防しながら自宅療養を継続できる体制を整備していく。

(3) 医療従事者の確保

・法人のホームページ(リクルートサイト)にて、当院の魅力並びに活動内容を掲載し、よりマッチした求人活動を行っていく。
・実習生の受入れや職場体験を通して、将来の医療従事者へ医療職のやりがいと魅力を感じてもらう。
・オープンキャンパスへの参加や病院見学を積極的に行い、学生と交流を持つ。
・ハローワークにおける求人掲載(各種職業紹介所を含む)。
・奨学金の活用による医療専門職への支援を通じ、人材確保を目指す。
・職員紹介によるインセンティブ制度(紹介謝礼金)の活用促進。
・県内のすべての高校二年生に配布されるスタンダードリクルート岩手への掲載を通じて、医療従事者として働くことの魅力を伝える。
・キャリア教育の副教材であるお仕事ノートやお仕事ブックを通して、小中学生に病院での仕事について知ってもらうきっかけとする。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・患者さんの回復を早め、地域医療を支えるため、365日リハビリテーションを提供できる体制をつくり、維持していく。毎日切れ目なくリハビリを受けられることで、日常生活への復帰が早まり、自宅に戻れる人が増え、家族の介護負担も軽くなる。地域の高齢者が“住み慣れた場所で安心して暮らし続けられる”環境づくりに、大きく役立つ取り組みとなる。

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名		社団医療法人 石川病院					
診療科目	内科、循環器内科、神経内科、外科						
1 病床機能の分化と連携について							
病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	20	12				32
	稼働	20	12				32
	非稼働	0	0				0
一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	11	10				21
	R5	13	10				23
	R4	12	9				21
病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	54.1	75.6				62.2
	R5	61.5	82.1				69.2
	R4	58.9	76				65.3
平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	38.4	276.1				63.7
	R5	49.6	167.2				72.2
	R4	55.8	208.1				82.1
病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在			20	12		32
	R7見込(2025年)			20	12		32

☐ 病床機能等の再編予定 あり （運用開始予定時期 ） なし

☐ 利用する補助金 ・なし
・あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用
☐ その他（補助金名： ）を利用

☐ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名		社団医療法人 石川病院	
2 病院の役割・特色（病院運営の基本方針、担う医療機能等）			
○基本的には慢性期治療を担う病院であるが、かかりつけの患者さんや地域の患者さんの急性期疾患への対応を担う。 ○急性期病院からバスなどによる入院及び外来患者さんの受け入れ及び紹介。 ○掛かりつけ及び地域の患者さんへの在宅医療や緩和治療・看取りなどを担う。 ○地域の施設入所者の診療や疾病予防など健康の維持への協力。 ○認知症、軽度認知症の診断治療への協力。			
3 2040年を見据えた今後の方向性			
(1) 医療と介護の連携に向けた取組について			
○掛かりつけ及び地域の患者さんへの在宅医療や緩和治療・看取りなどについて、訪問看護などの介護スタッフとの連携。 ○感染症流行時の予防や診療における協力と連携。F			
(2) 在宅医療の充実にに向けた取組について			
○掛かりつけ及び地域の患者さんの必要に応じた訪問診療、看取りなどを行い、急性期や入院が必要な場合の受け入れを担う。			
(3) 医療従事者の確保			
○休職者、退職者の再就職、看護学生への支援、外国人の採用などの検討。 ○HPなどによる募集や情報の発信。 ○看護学生の実習や教育への協力体制を構築。			
(4) その他（認知症対策、回復期リハビリテーション 等）			
認知症の早期診断などの外来診療。回復期やリハビリの体制を構築。早期認知症の診断や治療の充実。			

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート(病院用)

病院名		奥州市総合水沢病院	
診療科目	内科・小児科・外科・泌尿器科・耳鼻いんこう科・精神科・循環器内科・神経内科・整形外科・麻酔科・産婦人科		

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	135				4	139
	稼働	95				4	99
	非稼働	40					40

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	52.7					52.7
	R5	45					45
	R4	40.2					40.2

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	55.5					55.5
	R5	47.4					47.4
	R4	42.3					42.3

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	17					17
	R5	16.7					16.7
	R4	11.8					11.8

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在		20	75		50	145
	R7見込 (2025年)		20	75		40	135

※病床機能の表中、「その他」の欄の病床数は、休床中の病床数です。

☐ 病床機能等の再編予定 あり (運用開始予定時期)

なし

☐ 利用する補助金

なし

あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用 ☐ その他 (補助金名:) を利用

☐ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート(病院用)

病院名	奥州市総合水沢病院
-----	-----------

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

・圏域の医療機関との役割分担や連携を図りながら、中・軽度の急性期医療から、ポストアキュートの機能、在宅医療のバックアップベッド機能等、多様な疾患に対応する、地域医療に密着した病院

3 2040年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

・多職種(ケアマネ等)による退院時カンファレンスの実施
・退院情報提供シートによる情報共有の徹底
・居宅介護支援事業所等への訪問・情報交換
・「連携だより」の定期発行
・レスパイト入院(空床活用)の受け入れ

(2) 在宅医療の充実にに向けた取組について

・訪問診療の拡充に向けた体制整備(先進地視察等)
・専門看護師(特定行為・精神)の確保による訪問看護の質向上
・高次医療機関(岩手医大・県立病院等)と連携した24時間体制の整備
・訪問診療と連動した在宅ターミナルケアの推進
・小児・重症心身障害児の在宅移行支援(専門病院との連携強化)

(3) 医療従事者の確保

・大学医局への医師派遣要請
・奨学金養成医・実習生の受け入れ
・職場体験(ふれあい看護体験等)の実施
・就職説明会・病院見学会の開催
・ハローワーク・紹介会社の活用

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・専門科(神経内科・精神科)との連携
・認知症ケア委員会の設置・運営
・院内研修の実施による対応力向上

(記載例3)

病院名

奥州市国民健康保険まごころ病院

診療科目

内科・消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、歯科口腔外科

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	48					48
	稼動	48					48
	非稼動						

一日平均入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	34.3					34.3
	R5	31.8					31.8
	R4	32.3					32.3

病床利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	71.5					71.5
	R5	66.2					66.2
	R4	67.4					67.4

平均在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	21.4					21.4
	R5	19.2					19.2
	R4	22.6					22.6

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在			48			48
	R7見込(2026年)			48			48

○ 病床機能等の再編予定

あり

(運用開始予定時期)

なし

○ 利用する補助金

・なし

・あり

□地域医療介護総合確保基金を利用

□その他(補助金名:)を利用

○ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】

【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】

【整備計画】

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

21/27

(記載例3)

病院名

奥州市国民健康保険まごころ病院

2 病院の役割・特色(病院運営の基本方針、担う医療機能等)

医療機関が少ない胆沢地域において、地域住民のかかりつけ医としての役割と救急外来を中心とした救急医療のほか、地域に密着した病院として、訪問診療や回復期を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。
・慢性疾患への幅広い診療対応をメインとしながら、肺炎、尿路感染症などの高齢者の軽度急性期にも対応しています。
・廃用やフレイルが進行し、退院後の生活が困難になることを防ぐためにリハビリテーションに注力しています。
・介護との連携を密にしながら、訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療、訪問リハビリに取り組みとともに、オンライン診療を導入し在宅医療の充実を図っています。
・住民健診や予防接種等を積極的にに行っています。
・地域歯科治療とともに、口腔ケアの啓発に努めています。
・臨床研修医や医学生の研修や実習を積極的に受け入れ、人材育成の一端を担い地域医療の促進を図っています。
・隣接する福祉施設、健康増進施設の3者で連携し、地域住民の健康教育や啓発活動を行っています。

3 2040年を見据えた今後の方向性

(1) 医療と介護の連携に向けた取組について

地域医療連携室から関係機関に対して積極的な情報提供を行います。
・退院支援が円滑に進むよう退院時の介護職員への情報提供を進めます。
・介護施設からのサブアキュート患者を積極的に受け入れます。
・介護施設との間で情報共有が可能となるような研修機会を設けます。

(2) 在宅医療の充実に向けた取組について

・介護や福祉スタッフとの連携を密にしながら、訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護、訪問リハビリに取り組みます。
・在宅療養支援病院として訪問看護ステーションと連携を取り、24時間体制で在宅医療を担います。
・新興感染症が発生しても在宅医療を継続できるようオンライン診療を導入します。
・患者や家族からの希望に沿い、終末期の在宅看取りに対応をする。また、胆江圏域の医療機関からの在宅看取りの依頼に対応します。

(3) 医療従事者の確保

・奥州市医療局において、他の4つの市立医療機関の状況も含めて総合的に確保に努めています。
・総合診療専門研修および家庭医療専門研修プログラムを担う一医療機関となり、若い医師が専攻医として勤務で着る体制を整えています。

(4) その他(認知症対策、回復期リハビリテーション 等)

・認知症サポート医を抱える医療機関として、患者診療や家族の相談に応じます。

22/27

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名	医療法人社団創生会 おとめがわ病院
-----	-------------------

診療科目	精神科
------	-----

1 病床機能の分化と連携について

病床種別	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可			274			274
	稼動			274			274
	非稼動			0			0

一日平均 入院患者数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6			234.1			234.1
	R5			242.1			242.1
	R4			247.1			247.1

病床 利用率	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6			85.4			85.4
	R5			88.4			88.4
	R4			90.2			90.2

平均 在院日数	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6			343.0			343.0
	R5			392.6			392.6
	R4			499.0			499.0

病床機能	区分	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	計
	R7.7.1現在					274	274
	R7見込 (2025年)					274	274

☐ 病床機能等の再編予定 あり （運用開始予定時期 ） なし

☐ 利用する補助金 ・なし
・あり ☐ 地域医療介護総合確保基金を利用
☐ その他（補助金名： ）を利用

☐ 整備に係る概要について記載願います。

【現状】	
【補助金を利用することによる病床機能の分化と連携への効果】	
【整備計画】	

※ 整備概要について既存の資料等があれば添付をお願いします。

次ページへ続く

【様式】

地域医療構想実現に向けた取組シート（病院用）

病院名	医療法人社団創生会 おとめがわ病院
-----	-------------------

2 病院の役割・特色（病院運営の基本方針、担う医療機能等）

・胆江圏域で精神病床を有する唯一の医療機関。入院対応要するケースも含み、精神科領域での圏内医療要請に応える。急性期、回復期、慢性期全体をカバーする良質の医療を目指す。

3 2040年を見据えた今後の方向性

（1）医療と介護の連携に向けた取組について

・精神医療の目標は寛解と自立におかれるが、これが完全に現実されることは少なく、継続的な精神的介護、身体的介護、生活介護が必要になるケースが少なくない。各事業所と密に情報の共有を進める。

（2）在宅医療の充実に向けた取組について

・在宅生活が可能な能力と環境が最重要であり、訪問看護を導入し在宅患者への援助を図り、充実させる。

（3）医療従事者の確保

・養成学校への訪問、ハローワーク、紹介会社の利用、職員からの紹介で確保に努める。

（4）その他（認知症対策、回復期リハビリテーション 等）

・県南地域認知症疾患医療センターとして、外来、入院治療の受け入れや相談業務の実施。
・精神科リハビリの一環として作業療法、デイケア、訪問看護実施。

【様式】

具体的対応方針（前沢診療所の役割と機能）

所在地：奥州市前沢字立石180番地1

1 診療科目

診療科目	内科、呼吸器科、循環器内科
------	---------------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他 (休診)	合計
	R7報告					19	19
	R7見込					19	19

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・地域住民の心身両面からの外来診療を行うとともに、生活習慣病予防や認知症対策の普及啓発を行っている。近年は心療内科としてのニーズの高まりがみられる。 ・病床機能は平成26年8月1日から19床全て休床している。 (奥州市立病院・診療所経営強化プランで無床化の検討を進めることとしている。) ・他の医療機関との連携 他の医療機関への紹介が195件 他の医療機関からの紹介が78件 県立病院、市立病院、前沢地域内の医療機関が多い - その他、前沢地域内の医療機関からCT及び骨塩定量の検査を受託している。
--

【様式】

具体的対応方針（衣川診療所の役割と機能）

所在地：奥州市衣川古戸48-3

1 診療科目

診療科目	内科、リハビリテーション科
------	---------------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R7報告			19			19
	R7見込			19			19

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・山間へき地である奥州市衣川地域唯一の医科医療機関として、へき地診療所の役割やかかりつけ医機能を担い、県立胆沢病院（照会先兼照会元医療機関）や他の市立病院と連携し地域医療の提供を行っている。 ・隣接している衣川地域唯一の高齢者施設の嘱託医として、医療介護連携を進めながら、地域の包括ケアシステムを支えている。

【様式】

具体的対応方針（民間診療所）

診療所名:鈴木眼科吉小路

1 診療科目

診療科目	眼科
------	----

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他	合計
	R7報告		10				10
	R7見込		10				10

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・眼科治療が専門で、現在、手術は白内障手術が主であり、緑内障の白内障との併用手術も行っている。そのほかに前眼部手術も状況によって行っている。その多くは外来入院であるものの、手術施行施設が減少しており、県南の広い地域の開業医、県立病院とも連携している。そのため一泊入院の希望も少なくない状況である。 ・現在、眼科の手術施行施設は公的病院も含めて減少しており、今後は眼科手術センター的な施設にするべく、一緒に働く手術眼科医を募集しているところである。その時には、県南ではほとんどやられていない、硝子体手術、斜視手術、眼形成手術なども行う予定であり、最低でも現在の病床を維持していく必要があると考えている。
--

○ 胆江圏域における医療機関ごとの入棟・在棟・退棟患者等の状況

		岩手県立 胆沢病院		岩手県立 江刺病院		奥州病院		美山病院		美希病院		社団医療法人 石川病院		総合水沢病院		奥州市国民健康保険 まごころ病院		その他		計
2025.12.31現在の病床数【資料2再掲】		337		60		156		172		249		32		135		48		48		1,237
	高度急性期（2025年の必要病床数：0）	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
	急性期（2025年の必要病床数：357）	337		0		0		0		0		0		20		0		10		367
	回復期（2025年の必要病床数：312）	0		60		96		0		149		20		75		48		19		467
	慢性期（2025年の必要病床数：445）	0		0		60		172		100		12		0		0		0		344
	休床等	0		0		0		0		0		0		40		0		19		59
新規入棟患者数（年間）		9,585人		876人		894人		669人		1,578人		125人		1,105人		586人				
予定入院の患者（転棟含む）		4,740人		309人		609人		462人		858人		24人		328人		88人				
予定外の救急医療入院以外の入院患者		909人		152人		191人		0人		720人		0人		500人		310人				
予定外の救急医療入院の患者		3,936人		415人		94人		207人		0人		101人		277人		188人				
入棟前の 場所	院内の他病棟からの転棟	503人		43人		55人		191人		648人		20人		39人		0人				
	家庭からの入院	8,957人		705人		317人		55人		340人		80人		920人		409人				
	他の病院等からの転院	72人		50人		487人		230人		190人		4人		83人		51人				
	介護・福祉施設からの入院	52人		43人		22人		183人		400人		21人		62人		126人				
	その他	1人		35人		13人		10人		0人		0人		1人		0人				
在棟患者延べ数（年間）		96,403人		15,838人		53,756人		58,393人		87,747人		7,633人		18,184人		11,933人				
退棟患者数（年間）		9,556人		849人		864人		667人		1,581人		119人		1,072人		586人				
退棟先の 場所	院内の他病棟へ転棟	536人		0人		60人		191人		645人		18人		0人		0人				
	家庭へ退院	7,567人		373人		448人		37人		256人		54人		812人		357人				
	他の病院等へ転院	853人		2人		38人		16人		33人		8人		108人		11人				
	介護老人保健施設等に入所	90人		18人		133人		151人		357人		25人		65人		130人				
	終了（死亡退院等）	509人		96人		143人		264人		285人		14人		87人		88人				
	その他	1人		360人		42人		8人		5人		0人		0人		0人				
退院患者数（年間）		9,020人		849人		804人		476人		936人		101人		1,072人		586人				
退院後1月以内に在宅医療を必要としない患者（死亡退院含む）		8,934人		643人		766人		432人		285人		65人		1,041人		422人				
退院後1月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者数		78人		9人		32人		17人		407人		4人		25人		101人				
退院後1月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者		8人		0人		6人		3人		210人		0人		4人		63人				
退院後1月以内の在宅医療の実施予定が不明の患者		0人		197人		0人		24人		34人		32人		2人		0人				

【出典：岩手県内における医療機関ごとの病床の状況（令和7年度病床機能報告データ）を集計】